

寺報

龍正寺

日なた 97号

身をゆるさない

魂たまひをたすげず

日蓮大聖人御遺文

千日足御前御返事

聖人カレンジャーより

書写

日廷



<平成28年 6月>

宝龍会
護持会

子供の日祈祷会

平成二十八年五月五日(木)

日蓮宗 宝雲山 龍正寺 (岐阜市)

みなさんともいい笑顔で楽しいひとときを
過ごしました。子供達スクスク育ってネ。



みんなで記念撮影。 「ハイ！チーズ！」



プリンおいし〜。



「1人でがんばって
たたいているよ。」



家族みんなでお祈り



お題目石に願いを込めています



「おいしかった。」



お題目石を納めます



「楽しいヨ」

— 強 職 一 言 —

平成28年も半ば。早いものですね。

日蓮大聖人御遺文「千日尼御前御返事」聖人カレンダー表題

身をやしない

魂をたすける

《身をやしない》=人が生きていく上で、必要な入物をつくる作業を指す。

《魂をたすける》=心の学のこと、入物に内容を注ぎ込み充実にせらるることです。

色々な相談を受けておりますが、相談にこられる方々から良く聞く言葉の中に、言われた事をやってみましたか、だめでしたとか、いつまでやったら良いですか、またあの人が言ったからと、他の責任にして不平不満を言われる事があります。

他の言葉を信じ、教えを信じる事がないからです。

一生懸命仏様に手を合せ、お題目を唱えても他力ではだめです。

仏様のお教えを信じて、励む事が大切です。自分自身を

信じて前に進むと、充実した豊かな心で物を見る、孝え
る、力、がわいてきます。不平不満がなく物事が冷静
な心で判断が出来るようになります、それは幸せであり
仏様のお教えでもあります。

自分自身を成長するには、良き教えを学べ、良き
心を創る事です。

私は毎日お経を読誦し、仏様の教えを頂きたか
う精進し布教に励んでいます。

幸せを願うならば、良き教えを学べ、お題目を唱え
て下さい。

合掌

— しつけと虐待 —

新しい生活にも慣れ、少し疲れが出てくる頃かと思いますが、皆さん体調崩されていませんか？ そう言っている私も、少し前体調を崩し、ようやく元気になりつつある所です。

最近のニュースで取り上げられた、小学2年生の男の子の行方不明…。親がしつけのために山道に置きざりにした事が原因とのこと。一日も早く無事に見つかることを、同年代の子どもをもつ親として、毎日気にかけてにはられません。

ある番組では、「これはしつけではなく、虐待だ!!」と放送されていたが、何度注意しても聞かないなら、少し痛い思いをさせようという思いも分からなくはない…と感じ、虐待は言い過ぎかな…と考えながら見ていました。

私も子どもと公園に行き、帰ろうと言っても嫌々ばかりで疲れ果て、「先に帰るよ！一人だからね!!」と、その場を離れた事があつたのを思い出しました。私の場

合、そこは公園であったこと、帰るふりをして、見付からな
いように外からず、と見ていたことで大事にはならず
済みました。そして、一人ぼっちになっても親を探そうともせ
ず、黙々と遊ぶ娘の姿が少し面白く、イライラした気
持ちがどこかに行ってしまうので、その後も子どものペース
に合わせて、手を繋いで帰ることができました。

少なからず、似た様な体験をされている方はみえるん
ではないでしょうか？ この報道を見て、置きざりにして
目を離してしまったこと、山道だったこと、一つでも違っ
ていたら、こんな事にはならずすんだのではないかと
思っています。

また、夜は10℃を切る寒さです。Tシャツに長ズボン。
そんな格好で、3日3晩どう過ごしているのか？ 考える
だけでも胸が痛みます。「親」という字のごとく、木
の上に立って見る…見守ることが出来る時は遠くから見
守り、手を離しても心は寄り添って、家族の無事を
祈る毎日です。



心が温かくなるしつけ



五月も過ぎ去り、夏へと自然のエネルギーが大きくみなぎる季節になりましたね。

我が家の孫達もスクスクと成長して来ました。

少しずつ我々が「目芽え」「いや」「きらい」「ダメ」と自分の思いも言葉や小さな体全身で主張するようになりました。

「〜っ」と思いつつも、これが成長なのだと思える日々です。しかし、親となるとなかなかそのような思いにはなりません。

(これは私の経験ですか…)

私の子育ての時代は今ほど色々な物がありませんでした。

玩具・衣料・食品・しつけ・育児書など、子供に関わる物がこのように溢れていませんでした。その分迷う事も少なくて済みました。

今は物に溢れ満ちすぎて、逆に選択する事が大変です。

親が子供の為に何が必要なのか、そしてそれはどうして必要なのか、をしっかりと考えて与えていかなくてはいけないと思います。

子供の思うがままに何も考えずに与えてしまう事は、決して愛情の

ある子育てにはなりません。

子育ては「親」の大事な務めだと思っています。今時の「子育ての本」やアプリの鬼に子育てをしてもさうのではありません。

子育ての時こそ親子の大切な絆を作る時だと思っています。

そして親も人としての人間力かかって来ます。

私も子育て中、子供を叱るたび、感情的になっていき自分に気がつき心が痛みました。たくさん悩みながら子供と共に成長してきたと思います。時にはしっけの為に「おしおき」をした事もあります。

しかし、我が子の行動を考えた上でのおしおきでした。それは必ず見守りながら危険がない程度のものでした。そして必ず感情の怒りではなく、我が子への愛情があったと思っています。

今…親が感情に走ってしまい、何か起きた時に「しっけ」でした後づけしているように思えます。しっけとは「躰」と書きます。

子供が大人になる為に「身を美しく」心がけれる事が人間力を向上させる事になると思います。むしろ大人がまず身を美しくできなければなりませんね。親が親としての人間力を高める事が必要です。

今、我が子達も子育て中、孫へのしっけに悪戦苦闘しています。

その姿を見て、私はどうだった？　ちゃんとしつけが出来ていたかな？

子供達の子育てをみながさ、自分の子育てを振り返っているこの頃です。

私は今でも、父のしつけを心に留めています。そして時折、父に叱られた言葉を、思い出し感謝しています。

それは 私にとって「大きな財産」です。

子供達も孫に心に残る温かい大きな財産を残してほしいと思います。

「人生は自分で割り出す」

ある教室でのスタッフ間の話です。

40代の責任者と思われる方が20代のスタッフに注意している戸付でした。

「教えるのも、付きっきりで教えるのはダメ!! 他の生徒さんも同じように、平等にしておくてはいけなけんじゃないのかよ」

「問題があれば、内容によっては、出来ませんと言うことも大事なのではないかな? 別な(簡単な)方法でアプローチしていく必要があるんじゃないの」

「生徒さんが習っていない別の方法でやろうとしていることも注意する必要があるよね。それでも生徒さんが何か言ってきたら、やめてもらってもいいのでは?」

「ある意味自分勝手に進めている、その生徒さんにかかりきりになることの方が問題ある。」

「働く事の意味を考えなくではいけない」
等々。

仏様から自分に言われているように思う出来事でした。

自分に置き換えて、自分は仕事に対してはどうだろうかと考えさせられました。

仕事は、与えられただけの仕事をする事も出来ませんが、成長がありません。

仕事というのは、いかに考え進めていくことが大事かと...

仕事も人生も同じであります。自分自身で創り出してこそ人としての成長があります。

成長するために日々精進です。

南無妙法蓮華經

< 6月の行事 >

6月13日(月) 10時より 宗祖日蓮大聖人報恩会
大古久尊大祈願会

6月18日(土) 10時より 鬼子母尊神 祈禱会
七面大明神

< 住職の予定 >

6月14日(火) 中部教区師恩会
(あま市 實成寺にて)

< 6月の予定 >

6月5日(日)	13時より	役員会
6日(月)	各々の時間で	清掃、準備活動
	↓	↓
13日(月)	法要後	片付け、準備
14日(火)	各々の時間で	清掃、準備活動
	↓	↓
17日(金)	↓	↓